平成 22 年度 第 1 回 CCC コミュニケーション学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成 22 年 6 月 25 日(金) 16 時 00 分から 18 時 30 分まで

II. 場所: 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 : 中西委員、北根委員、阿部委員
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、渡邊職員

IV. 議事概要

1 検討内容

事務局より、本年度における本委員会での検討事項について説明があった。

本日の委員会では、「コミュニケーション関係学教育における学士力の考察」をもとに、具体的に授業をどのように演出させるか、授業の演出、工夫の中で、ICT を使用することでどのように効果をあげることができるかについて意見を出し合いながら、作成していくこととなった。下記に、到達目標ごとに検討された意見の一部を示す。

到達目標1について

- ・ コミュニケーションのメカニズムと ICT との関係について説明する。
- ・ ICT 技術によって人間のコミュニケーションがどう変化したのかを理解させる。
- ・ 基本的な知識や情報をウェブサイトで調べる。
- ・ 自分の体験と知識との関連を考えさせる。

以上のような意見から、理論を概説するだけでなく、学生に体験させたり、日常の体験を通してコミュニケーションのメカニズムを学習することが重要であるとの認識を共通の理解とした。

到達目標2について

- ・ 異文化の人々とのコミュニケーションの場面をビデオなどで録画し、その内容を検討する。
- ・ 実際にディスカッションやスピーチを実際に行ったものを録画して振り返る、分析する。
- ・ 海外で展開されているスピーチの教材をアレンジしたサイトを構築して活用する。
- ・ ICT を用いて外国人と直接コミュニケーションできる機会を構築する。具体的には、SNS などを用いる。
- ・ ICT を用いて遠距離日本人同士でもコミュニケーションできる機会を構築する。具体的には、SNS などを用いる。
- ・ 映像を撮影するなどしてスピーチやコミュニケーションの練習を行う。ウェブサイトに映像を載せて評価をしてもらったり、映像を見てコミュニケーションの特徴を分析する。
- ・ ロールプレイによる実践とそれをビデオに収録して分析する。

以上のような意見から、ロールプレイやプレゼンテーションなどの実習を映像に記録して分析した

り、映像を共有して批評するなど、映像を活用することが重要であるとの認識を共通の理解とした。

到達目標3

- ・ ICT の光と影のようなものをケーススタディとして学ぶ。
- ・ 様々なコミュニケーションの状況についてフィールドリサーチを行う。例えば、あるテーマにそつた(陰のサイト)を収集する。例えば、不良品について批判しているサイトを収集する。学校裏サイトを探させるなど。
- ・ メディアの情報を分析する際に、ICT(ソフトウェアなど)を活用できる。

以上のような意見から、メディアに関する具体的な学習に際しては様々な事例を学ぶ必要があり、その事例を収集したり分析したりするのに ICT 技術を大いに活用することが重要であるとの認識を共通の理解とした。

V. 次回の開催日程

日時 : 平成 22 年 9 月 24 日(金) 16 時 00 分から 18 時 00 分まで

場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室